

# 小学校 6年 特別活動

考える  
表す

話す・聞く  
書く

育成したい  
国語力

事例や自らの経験など、他の事柄と多面的につなげながら、分かりやすく書く。思い描いたこと、予想したことなどについて、文章構成や言葉遣いを工夫し、より分かりやすく効果的に書く。

## 題材名 学級活動「学級文集を作ろう」

**題材の目標** 学級の歩みをまとめ、学級のまとまりと成長を認め合い今後の生活の励みとなる文集づくりを行うことができる。

### 学習活動の流れ

**第1次(本時)**  
・学級の出来事を思い出  
し、文集の構成を考える。

**第2次**  
・文集の原稿を書く。

**第3次**  
・文集をまとめる。

**第4次**  
・まとめた文集を読み、味わ  
おう。

### 第1次の目標

これから書こうとする文集について、書きたい内容を明確にするとともに、表現の仕方について見通しをもつ。

#### 導入

一斉

めあての確認

めあて：  
学級の出来事を思い出  
し、文集づくりの計画を立てよう。

#### 展開1

一斉・個別

学級や自分自身を振り返り、これからの自分について考えることができる学級文集にするには、どのような構成にするか考える。  
(ワークシート1)

#### 展開2

一斉

ワークシート1を基に自分自身や学級の変化、感動したことについて話し合う。  
どのようにすれば効果的に書き表すことができるか意見を交換する。

#### まとめ

一斉・個別

作品について  
計画を立てる。  
(ワークシート2)

### 国語力育成の視点

どのように表現すれば、効果的に伝えることができるかを考えることは、高学年の「書く」活動における重点事項です。「考える力」「表す力」を伸ばすための重要な視点になります。

### 視点③

児童の実態に合わせ、まとめ方、事例のあげ方、順序などについて考えられるようにワークシートの工夫が必要です。

### ワークシート

- 作文の計画を立てよう
- 何を伝えるのか
  - 何を
  - なぜ
  - どんな事例を挙げるのか
  - どのような構成にするのか
  - はじめ
  - なか
  - おわり

### ワークシート1

文集にのせたい内容を考えよう。  
この学級の思い出は何ですか。

自分の成長について

学級の変化について

文集を通して伝えようとする事

分かりやすく伝えるために

### 視点①

高学年においては、伝えたい内容を明確にし、効果的に伝えることが、中心的な課題になります。また、目的を明らかにし、伝えようとする内容を定めることも大切です。そのためには、計画段階から「伝えたいこと」と「伝え方」を明確にできるような手立てが必要です。ここではワークシートを工夫するとともに、心に残っていること、自分自身の成長、学級の高まり、感動したことなどについて出し合い、何を伝えようとするのか意識できるようにすることが大切です。

### 視点②

文集を読んだ人がその場の感動を想像できるような文章を書くにはどのようにすればよいか考えて書くようにします。書くことにより感動を深め、さらに書き進めます。

文集原稿

名前( )

修学旅行	六月	五月	四月	六年一組の歩み
------	----	----	----	---------

**文集の内容例**

学級目標の意味

文集作成の目的

作品「君は今・・・」

友達が仲間のどんなよところ  
を見ているかを綴ったもの

作品「心の軌跡」

一年間、一人一人がどう変わっ  
たかを各自が表現したもの

グループ紹介とボエム  
班の紹介とは歩みを班ごとに短  
い詩で振り返ったもの

メッセージ

先生、そして友達へ

学級の歴史

各月の出来事と心の成長をまと  
めたもの